研究課題名

「救急外来受診患者における潜在性菌血症についての後ろ向き観察研究」

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（承認番号　H28中倫小第47号）

救急外来における潜在性菌血症の研究実施についてのお知らせ

救急科では、下記の観察研究を実施しております。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　平成　28年　11月 11日

【研究課題名】

救急外来受診患者における潜在性菌血症の研究

【研究期間】

　2016年12月1日から同年3月31日まで

【調査対象】

2006年1月1日から2015年3月31日までの間に当院救急外来を受診した18歳以上で血液培養を2セット以上採取された成人患者

【研究目的・意義】

本研究の主要目的は当院救急外来を受診し感染症が疑われた成人患者の潜在性菌血症の特徴を明らかにすることである。当院は全国有数の臨床研修病院であり、年間約40,000人の北米型ERでの救急外来受診患者を背景に救急外来研修に力を入れている。また感染症内科が感染症教育にも力を入れており、特に救急外来での感染症患者に対するアプローチは院内全体で比較的統一されている。こうした均一の診療及び、日本全国1位の血液培養払出量を背景に、当院救急外来を受診した潜在性菌血症の患者の背景を明らかにすることが本研究の目的である。

【研究の方法】

診療録を参照し、潜在性菌血症を来した患者の、患者背景・臨床徴候・検査結果・診断結果・転機を集計する

【個人情報の取扱い】

試験実施に係るデータや同意書の取り扱いに際しては、被験者の個人情報保護に十分配慮し保管する。病院外に提出する症例報告書等については、被験者識別コード等を用いる。試験の結果を公表する際は、個人を特定できる情報を含まないようにすること。本試験の目的以外に、試験で得られた被験者のデータを使用しない。

【研究機関】

沖縄県立中部病院

【本研究に関する問い合わせ先】

沖縄県立中部病院・救急科・山本一太

沖縄県うるま市宮里281・098-973-4111(2485)